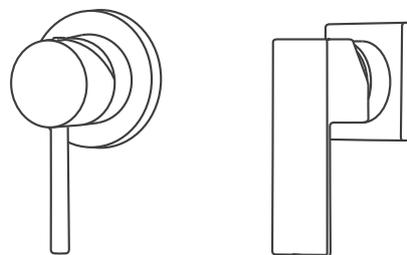


施工説明書

シングルレバー 壁埋込混合栓

本施工説明書、取扱説明書の指示に従った場合のみ製品保証の対象となり、この製品の性能と安全性を保証するものとします。



該当品番

SP-52-X1mk2

SP-52-X1BK

SP-58-X1

index		page
安全上の注意	_____	2
取付前の注意	_____	3
仕様と使用条件	_____	3
部品構成	_____	4 - 5
施工手順	_____	6 - 9
施工後の確認事項・注意事項	_____	10 - 11

安全上の注意（安全のために必ず守ってください）

この説明書では、重大な結果（傷害・物損等）を未然に防止するための安全に関する重要な内容を記載しています。必ず守ってください。

図記号の説明



禁止

禁止（してはいけないこと）を示します。



注意

使用者が傷害（※1）を負うことが想定されるか、物的損害（※2）の発生が想定される内容を示します。



分解禁止

分解する行為の禁止を示します。



必ず実行

指示する行為の強制（必ずすること）を示します。

※1：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

※2：物的損害とは、家屋、家財及び家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

注意事項



分解禁止

修理技術者以外の方は、製品本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因となります。

製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や水漏れの原因となります。

湯水を逆に配管しないでください。水を出そうとしたのに湯が出て、やけどをすることがあります。



禁止

同梱の部品以外は使用しないでください。故障や水漏れの原因となります。

寒冷地では使用しないでください。凍結により故障や水漏れする危険性があります。

温泉水には使用しないでください。温泉成分により器具が腐食する等の恐れがあります。



注意

給湯の温度設定は80℃以下にしてください。水栓の故障またはやけどの防止になります。



必ず実行

各接続部は確実に接続してください。確実に接続されていないと、水漏れの原因となります。

取付前の注意

水栓を取付ける前に、給水・給湯管内の異物・不純物が管内に残らないように必ず洗浄してください。管内に異物・不純物が残っていると故障の原因となることがあります。

水圧の調整や、点検作業を容易にするため、別途止水栓をご検討ください。

水栓の取付は、手袋等を使用してキズが付かないように注意してください。

※取付工事は、水道法、その他の地方自治体の法令・条例、規則など各種法規に従って行ってください。
※施工完了後、正常に動作することを確認し、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方をお客様に説明してください。

仕様と使用条件

推奨水圧	0.2 ~ 0.4 MPa (動水圧かつ湯水同圧)
------	---------------------------

必要水圧	0.15 MPa (動水圧かつ湯水同圧)
------	----------------------

最高限度水圧	0.75 MPa (静水圧)
--------	----------------

推奨給湯温度	65℃
--------	-----

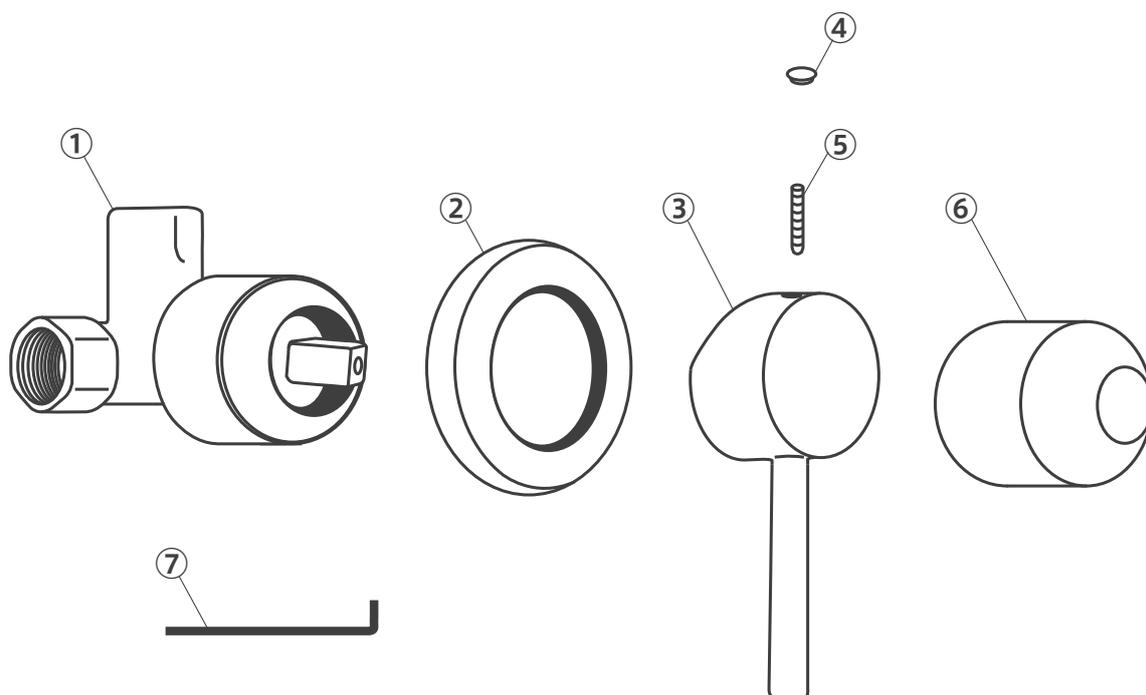
最高給湯温度	80℃
--------	-----

使用可能水質	飲用可能な水道水 ※温泉水不可
--------	-----------------

使用環境温度	4 ~ 90℃ ※内部の水を凍結させないでください。
--------	----------------------------

給水・給湯接続	G 1/2
---------	-------

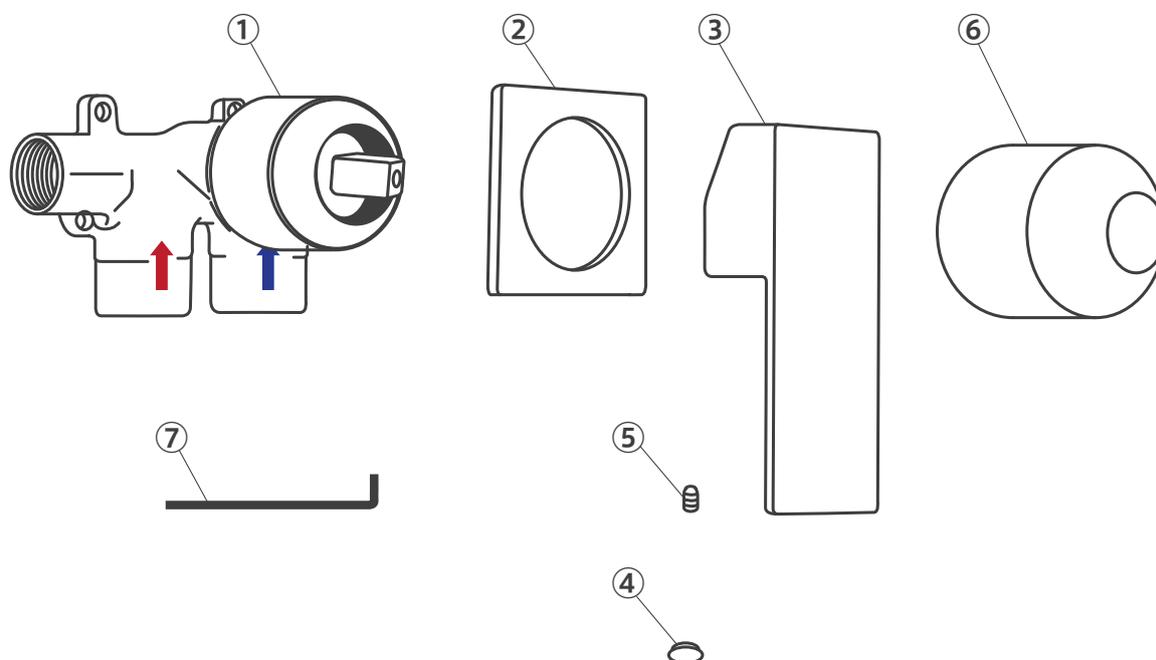
部品構成 : SP-52-X1mk2 / SP-52-X1BK



番号	部品名称	個数
1	本体	1
2	化粧ローズ	1
3	レバーハンドル	1
4	化粧キャップ	1
5	六角ネジ (レバーハンドルに取付状態)	1
6	プラスチックカバー	1
7	S 2.5mm 六角レンチ	1

※仕入時期によって、掲載内容が同梱部品と異なる場合があります。ご了承ください。

部品構成 : SP-58-X1



番号	部品名称	個数
1	本体	1
2	化粧ローズ	1
3	レバーハンドル	1
4	化粧キャップ	1
5	六角ネジ (レバーハンドルに取付状態)	1
6	プラスチックカバー	1
7	S 2.5mm 六角レンチ	1

※仕入時期によって、掲載内容が同梱部品と異なる場合があります。ご了承ください。

施工手順 1

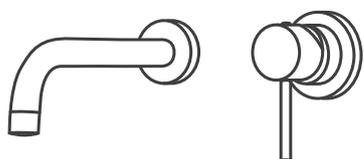
本施工資料は SP-52-X1mk2 の、**レバーハンドルを下向きに施工した場合の図**になります。

レバーハンドルの向きは、本体の埋込方向で決まります。(本体取付後、変更不可)

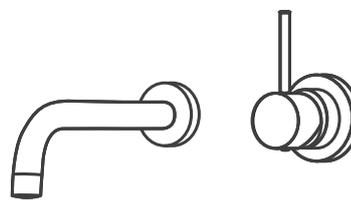
施工前に、必ず**別資料【壁埋込混合栓レバーハンドル向き別埋込部施工方法】**を確認してください。

※ 本施工説明書は SP-52-X1mk2 及び吐水口の施工説明書として記載しております。購入されたセットの内容により、出湯先や水栓の配置が異なります。詳細は、購入された商品の承認図をご確認ください。

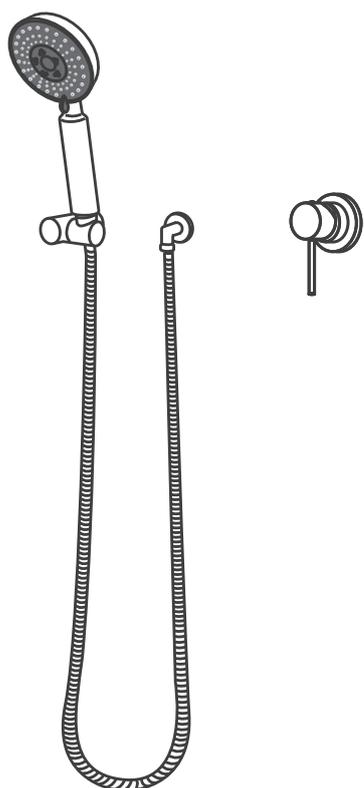
【① 吐水口との組合せ (レバーハンドル下向き)】



【② 吐水口との組合せ (レバーハンドル上向き)】



【③ ハンドシャワーとの組合せ】



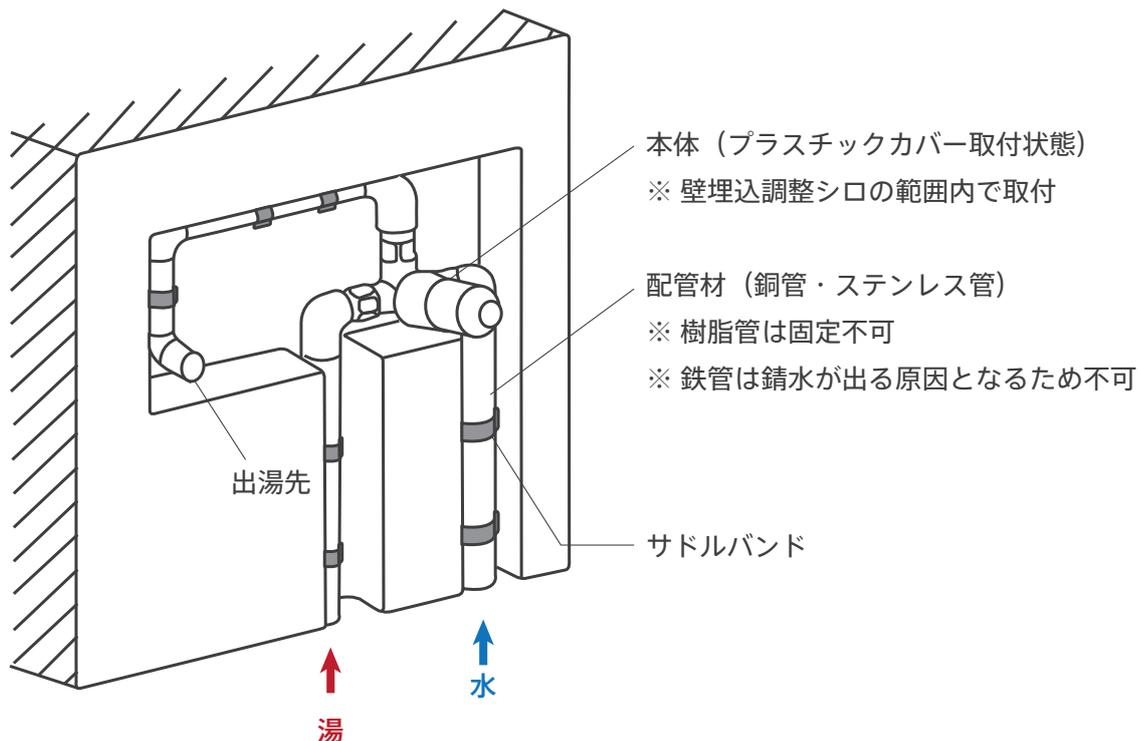
【④ オーバーシャワーとの組合せ】



施工手順 2

混合栓と出湯口の位置を決定し、出湯先まで給水・給湯管を配管します。

- ※ 本体には、プラスチックカバーが取付いた状態で施工してください。(P4・P5 参照)
- ※ 湯・水の配管を間違えないように注意してください。配管の交換はできません。
- ※ 下図は、吐水口との組合せ且つ、SP-52-X1mk2 のレバーハンドル下向き時の参考図です。



固定方法について

本製品は本体を固定するものでないため、給水・給湯及び出湯先接続の各配管を、サドルバンド等 (現場手配) を用いて、十分に固定してください。その際、本体の取付位置がプラスチックカバーに記載の壁埋込調整シロの範囲となっているかご確認ください。

- ※ 本体が壁埋込調整シロの範囲外に取付けられた場合、化粧ローズとレバーハンドルが取付けられないおそれがございます。

接続後、水圧テスト及び配管接続による水漏れがないか確認してください。

接続部より水漏れがなければ、プラスチックカバーをはめた状態で、仕上まで施工してください。

- ※ 化粧ローズ・レバーハンドル取付前に配管内に、ゴミや異物が入らないようにしてください。

施工手順 3

壁の仕上後、プラスチックカバーを取外し、化粧ロースとレバーハンドルを取付けてください。

※ レバーハンドルがうまく差し込めない場合、レバーハンドルを固定させる六角ネジが、

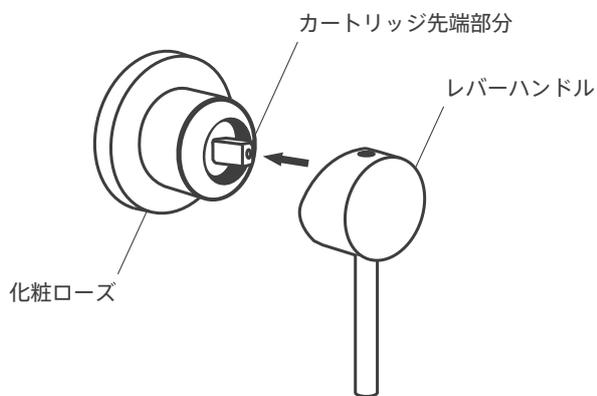
カートリッジ先端部分への取付を妨げている可能性があります。(P4・P5 参照)

六角ネジを付属の六角レンチで緩めてから、再度レバーハンドルを差し込んでください。

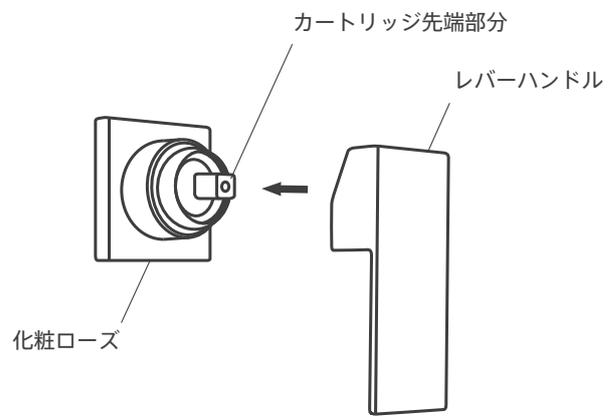
六角ネジを緩めすぎると六角ネジがレバーハンドルから取外れてしまう場合がございます。

六角ネジを紛失しないよう注意してください。

【 SP-52-X1mk2 / SP-52-X1BK 】



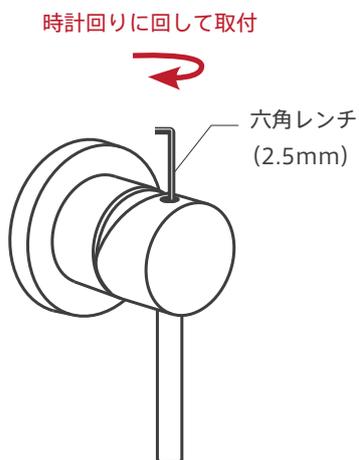
【 SP-58-X1 】



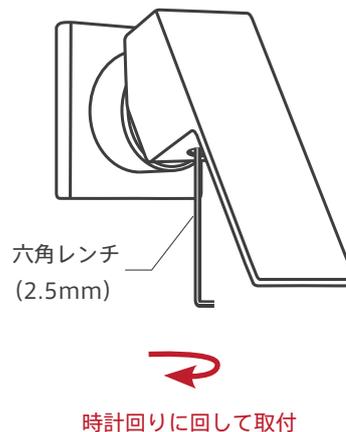
付属の六角レンチ（2.5mm）を使用し、レバーハンドルに取付いてある六角ネジを時計回りに回して、本体へしっかりと固定させてください。

※ 六角ネジの取付が緩いと、レバーハンドルが外れてしまうおそれがあります。

【 SP-52-X1mk2 / SP-52-X1BK 】



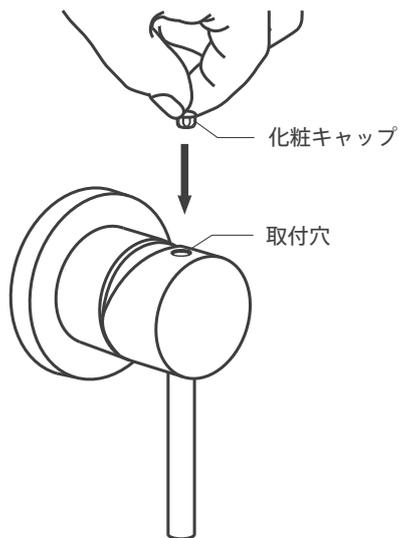
【 SP-58-X1 】



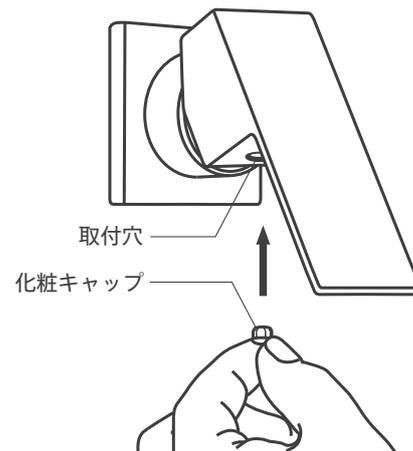
施工手順 4

化粧キャップを取付けてください。 ※ 取付前に紛失しないように注意してください。

【 SP-52-X1mk2 / SP-52-X1BK 】



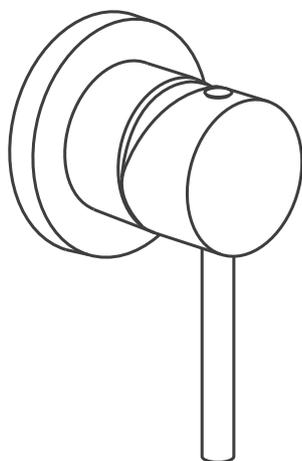
【 SP-58-X1 】



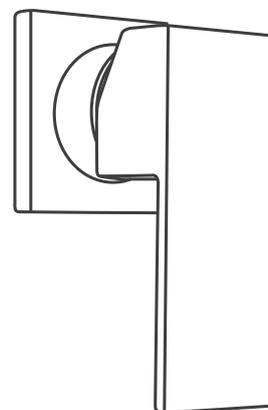
以上で、取付作業は完了です。

本体及びレバーハンドルがしっかりと取付されているか、再度確認してください。

【 SP-52-X1mk2 / SP-52-X1BK 】



【 SP-58-X1 】



施工後の確認事項

水栓の取付後、動作確認を行ってください。

壁埋込混合栓の使用法

レバーハンドルが垂直にある状態から左右へ向けて温度調整してください。

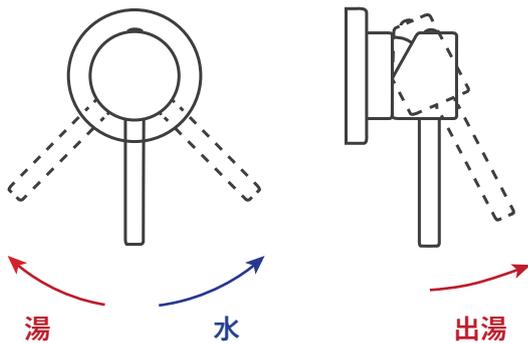
出湯は、レバーハンドルを手前に引いて出湯させてください。

出湯量は、レバーハンドルの引き具合で調整してください。(目一杯引いた状態が最大の出湯量です。)

※ 出湯している状態で、レバーハンドルを左右に動かして温度調整を行ってください。

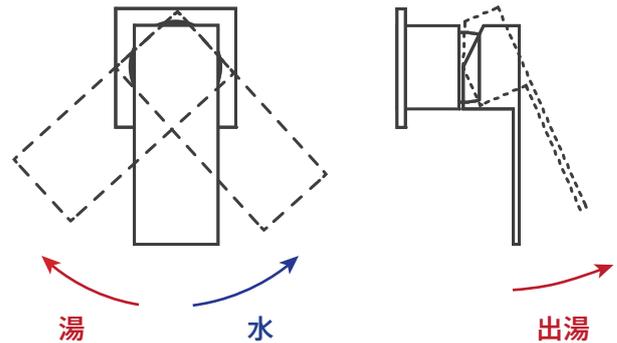
下向き施工の場合：

SP-52-X1mk2 / SP-52-X1BK



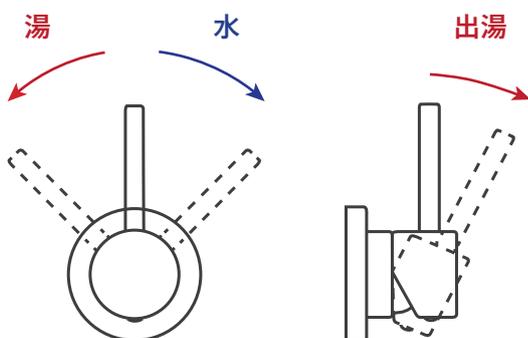
下向き施工の場合：

SP-58-X1



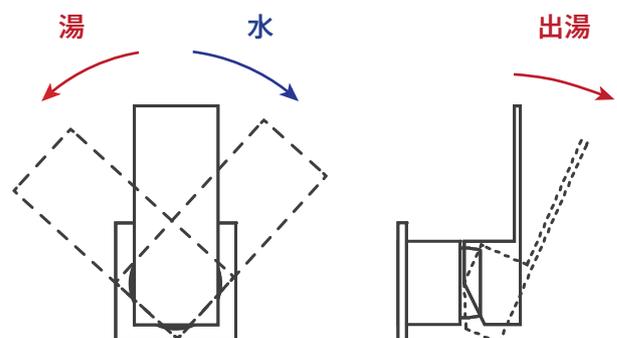
上向き施工の場合：

SP-52-X1mk2 / SP-52-X1BK



上向き施工の場合：

SP-58-X1

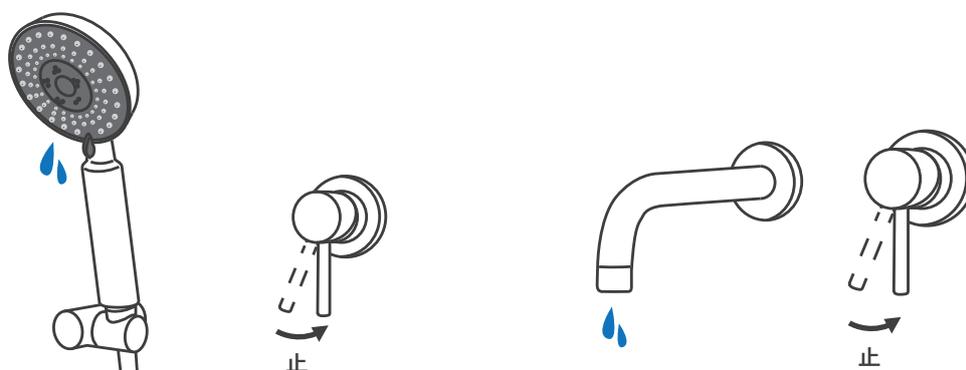


施工後の注意事項

水栓を取付ける前に、給水・給湯管内の異物・不純物が管内に残らないように必ず洗浄してください。管内に異物・不純物が残っていると故障の原因となることがあります。

取付後、早期に起こる水漏れは、配管洗浄を行っていなかったことによる水栓カートリッジの破損が原因となります。下記の症状においては、保証期間内であっても有償での部品交換となります。施工時は、必ず配管洗浄を行ってください。

症状例①：止水しても出湯先から水がポタポタ垂れる



症状例②：止水してもハンドル部分の間隙より水が漏れる



上記の症状は、すべて水栓カートリッジが配管内に残った砂やゴミ等で傷ついたため、起こる症状です。水栓カートリッジを購入ご希望の場合は、弊社 HP のお問合せフォームよりご依頼ください。

輸入販売者：

フォンテトレーディング株式会社

愛媛県松山市下伊台町 1309-100

TEL.03-6417-3557 FAX.03-6417-3552

営業時間：9:00～17:00

定休日：土曜日・日曜日・祝祭日

作成日：2020年10月